



学校だより



NO.7
東京女学館小学校
令和5年10月6日

これからの時代を生きる

小学校長 盛永 裕一

九月十一日、広尾移転百周年記念式典が盛大に開催されました。多くのご来賓・保護者の方々にご参加いただいたこと、感謝申し上げます。

当日、「未来への新たな一歩」として、小中高連携教育検討会議でまとめた「東京女学館が目指す未来目標マップ」を紹介させていただきました。時間の都合で一部しか紹介できなかったのですが、改めてここで話しさせていただきます。

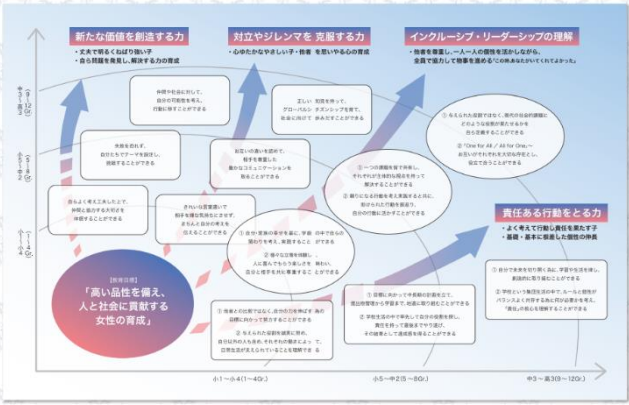
現在世界を見渡してみますと、グローバル化の進展や技術の加速によって、私たちは社会、経済、環境などの様々な分野で前例のない変化に直面しています。未来は不確定であり、予測することが困難な時代になっているのです。そこで私たちは、経済協力開発機構(OECD)の「教育とスキルの未来2030プロジェクト」を参考にしながら、そこに示されている三つのコンピテンシーと、インクルーシブリーダーシップについて、「本校が期待する児童・生徒像」に迫っていきましました。コンピテンシーとは、高いパフォーマンスを発揮する人物に共通してみられる「行動特性を指しています。それをまとめたものが、左に示している図です。縮小版です。それをまわって文字が読めないことお許しください。また、「新たな価値を創造する力」、「責任ある行動をとる力」については、当日ご紹介できませんでした。お配りしたパンフレット五・六ページを改めてご一読いただけたらうれしいです。

1990年代のはじめ、高知県に住むある高校生の投書がアメリカの新聞に載りました。日本はなぜ自衛隊を戦争に派遣しないのか。それを説明する内容でした。驚いたのは、アメリカからその高校生に100通を超える手紙が届いたそうです。シカゴ郊外の高校生がこんな言葉を書いていたのです。「真に問われるのは戦争を始める能力ではなく、戦争を回避する能力である。」

時を超え、今も通じる問いのように思えます。式典当日「対立やジレンマを克服する力」の説明の中で紹介させていただいた言葉です。

現代を生きる子どもたちとともに、未来を切り拓く力を培うことが私たちの使命であり、東京女学館の児童・生徒がより幸せな人生を歩んでいけるよう心より願っています。

東京女学館が目指す未来目標マップ



館山校外学習 (9月13日～15日)

3年生担任

雲一つない青空のもと、79名の3年生を乗せたバスは磯採集をする伊戸に到着しました。網とバケツを持って、思い思いの場所に行き、潮だまりをのぞき込みます。動きの速い魚は挟みうちをし、岩の下のカニは動いたところを狙って大急ぎで網をかぶせるなど、大奮闘！お尻まで水に入る子続出の甲斐あって、ヤドカリやカニ、貝、ウミウシ、ウニやヒトデまで捕まえることができました。2日目は地引き網です。潮が引いていたので網が遠くになり、なかなか引けません。他の学校の方の力を借りて何とか網を引き上げると、ネコザメやエイ、ヒラメ、アジ、カニ、イカ等、たくさんの生き物が入っていました。漁師さんが取れた魚を説明していただき、さわらせてもらうこともできて、みんな大喜びでした。午後はおうち作り挑戦です。職人さんが丁寧に作り方を教えていただき、プロジェクターに映った手元を見ながら、みんな真剣に取り組んでいました。できあがった「マイうちわ」は大満足の出来栄でした。3日目は坂田でのビーチコーミングです。貝殻やシーグラスなど、お目当ての宝物をたくさん見つけることができました。その後休暇村を後にして、渚の博物館に寄り、ウミホタルの発光体験をしました。ウミホタルを掌に乗せてもらうと、青白い光を放ちます。初めて見るその美しさや掌の上で動くもぞもぞした感触は、心に残ったことでしょう。3日間晴天に恵まれましたが、帰校時には雨。お出迎えの先生方が傘を道を作ってください、濡れることなく校舎に入ることができました。廊下の水槽には、採集した生き物が今も元気に生きています。乾燥わかめをあげると魚は飛びつき、ヤドカリはつかんで食べていました。そんな様子を見ながら、みんなで楽しかった館山を思い出しています。



3年B組 児童

わたしが一番心に残ったのは、2日目の地引き網です。初めてなので、どんな感じなのかとワクワク、ドキドキしていました。地引き網の場所に到着してマリンシューズに履き替えた後、みんなでいっせいに「よしよ、よしよ。」と声を合わせて引っ張りました。わたしも力をふりしぼって引き続けました。引いていた時に、「昔の人もこんなにたいへんなお仕事をしていたんだな。」と思いました。あと「これはパパとママのいない運動会なのかな。」とも思いました。がんばって取ったお魚は、ネコザメやエイ、イカなどでした。イカはさわったら、プルプルしていました。

ぶじに校外学習を終えて帰る時、わたしはうれしいような、悲しいような気がしました。なぜうれしいかという、やっとなりに会えるからです。なぜ悲しいかという、せつかくおとまりになれて楽しかったのに、もう帰らないといけなからです。また行きたいです。

3年A組 児童

いそい集のところに着いて、バスから下りた時、とっても暑くてびっくりしました。はじめにヤドカリを見つけました。周りを見たらたくさんヤドカリがいたので、こんなにたくさんいるんだなと思いました。いろいろな形やもようの貝に入っていて、小さいのもいてかわいかったです。次は魚をつかまえたかと思って、あみを水中で回していたら赤いヒトデを見つけました。ぬるぬる、つるつるしていました。先生に見せると「クモヒトデじゃないか。」と言っていました。ヒトデをさわったのははじめてだったので、こんなかんじよくなんだなと思いました。「そろそろ終わりです。」と言われたときは悲しかったです。また、やりたいです。



2年生 虫とり・梨もぎ 9月27日(水)

2年生担任

明け方の雨も止み、澄み切った秋の空に変わった頃、いつもよりさらに元気な2年生が登校してきました。事前学習では、梨がどのようなになっているか想像して絵を描いたり、A先生の「虫とり講座」を受けたりしてわくわくが募っていました。

まずは虫とり。子どもたちはスタートの合図と共に一斉に草むらに駆け出していきました。「2種類以上捕まえる」を目標にし、そっと近づいてバツを捕まえたり、飛んでいるトンボやちょうちょうを全力で追いかけて、子どもたちが虫を真剣な眼差しで見つめる様子が印象的でした。虫は苦手と言っていた児童も友だちと協力して頑張って捕まえようと最後まで諦めませんでした。お弁当で元気をチャージした後は、上原園さんと梨もぎ体験です。上原さんと農協の方のお話は興味津々でメモを取ったり、質問したりして学習を深めました。梨もぎでは、精一杯背伸びして、両手いっぱい大きな梨をもちました。ナップザックにたくさんの梨と思い出を詰め込んで帰ったことでしょう。虫いっぱい、梨いっぱい、笑顔いっぱいの充実した校外学習となりました。



2年A組 児童

9月27日、私たちは、この日虫とりとなしもぎに出かけました。わたしは、虫がにが手なので、何もとれないと思ったけれど、なんと、モンキチョウとてんとう虫がとれました。前の日にピオトープでれんしゅうしたせいかわかもしれません。とることに、む中になり、にが手なこともわすれていました。2ひきもとれてとてもうれしかったです。つかれた後に食べたお弁当は、とってもおいしくて、思わず、「おいしい。」とさげんでしまいました。午後は、なしもぎです。なしもぎでは、私の顔と同じくらい大きさのなしを、3つもとれます。私は、「そんなに持ち帰っていいの？やったあ。」と心の中でさげました。私はよるこびすぎで、帰りのことを考えず、大きな大きななしをさがしてもぎました。とっても重くなつてしまい、もち歩くのが大へんでした。とても楽しい1日でした。また行きたいです。

2年B組 児童

虫とりでは、黄色いちょうと白くて中が黒いちょうを見つけました。二ひきのちょうはとてもかわいかったです。さいしよは虫とりをやったことがなかったので、「つかまえるかな」とドキドキしていました。虫をつかまえるたびにわたしは大よこびしました。

お弁当を食べ終わったつぎはよいよなしもぎです。一人三つのなしをとりました。なしをとった後は上はら園の人にお話しをしてもらいました。日本には四十から五十しゅるいのなしがありますが、上はら園では十五から二十しゅるいそだてているそうです。なしをもってかえって食べてみると、いつも家で食べているなしとちがって、すごくシャリシャリしていました。

かえりのバスの中では、お友だちと今日のことを話してかえりました。はじめてのことがいっぱいえん足でした。

1年生 石拾い 9月28日(木)

1年担任

夏のような日差しの中、秋川溪谷へ出かけました。1年生としては初めての遠出でしたが、往復のバス内も現地での活動も、目いっぱい楽しむことができました。川原でさまざまな種類の石を拾っては、「おいしそうなケーキに見えない?」「この石、白くお絵かきできるよ。」「つやつやして宝石みたい。持って帰ろう。」等、友だち同士さまざまな声をかけ合い、発見を楽しんでいました。水に入ると、「きれい。」「魚がいるよ!」「ここにさかなのお家を作ろう!」と大いに盛り上がり、宝石探し、温泉づくり、石積み競争、お城づくり…等たくさんの遊びを工夫して行いました。

心のこもった美味しいお弁当にとびきりの笑顔を見せた1年生。帰りに、石が入ったナップザックを重い重いと言いつつ背負う面々もキラキラした表情でした。元気いっぱい、1日よく頑張りました。

1ねんAぐみ 児童
いしをひろったときやったー!とおもいました。きれいないしを見つけました。どれもかたちがちがいました。はんで、かわをつくりました。わたしは、かわのしたをつくるやくだした。おひさまがさんさんになっていました。

1ねんAぐみ 児童
わたしはひろったいしでかおをつくりました。ういんくのかおやほほえんでいるかおのいしもありました。かわのながれがとてもきれいでみとれました。どーんじゃんけんぼんをしてあそびました。



1ねんBぐみ 児童
かわであそんでいるとちっちゃいおたまじゃくしみたいなおさかながおよいでいました。ちかづこうとしましたが、いわのかげにかくれてしまいました。いしがぬるぬるしてあるきにくかったけど、みずはとてもきもちよかったです。

1ねんBぐみ 児童
くちがあいているいしを見つけました。木のぼうを、かわのみずでぬらしてめをかけたらおもしろくなりました。めをつけたいしをおともだちにみせたら、わらってくれてうれしかったです。



5年生社会科見学 日産自動車工場

9月27日(水)

5年A組 児童

私は今回の社会科見学で印象に残ったのは「組み立て」です。なぜかというと、組み立てでは、お客様が注文した車を作業員が手際よくつくっていたり、赤い服を着た人が「ラクラクハンド」という機かいを使って、ハンドルの部分をつけたりしていたからです。他には、工場内に信号があったり、大人用の三輪車やドアを運ぶ無人ロボットなどがあってびっくりしました。日産の名前の理由は「日本の産業を豊かにしたい」という意味です。私は、今回の社会科見学でその意味がよく分かりました。日本の産業が豊かにできたら、もっとたくさんの車が作れると思ったからです。今回の社会科見学はとても印象に残りました。



5年B組 児童

日産の見学をして、私はもっと車のことについて好きになりました。私が一番勉強になったことは、日産という名前が「日本の産業をゆたかにする。」という目標から来た、日本の日と産業の産をとって「日産」だそうです。他にも工場内を見学して教科書にのっていないことや、ふつうでは体験できないことをさせていただきました。こども宇宙科学館では、たのしいアクティビティーや、体をつかって体験したことが多かったのので、体で学ぶという特別な体験をさせていただきました。バスの中ではとなりのお友達や周りの子たちと楽しく遊ぶことが出来ました。これからは、もっとくわしく車のことについて調べていきたいと思います。

すずかけの授業『箏曲』

すずかけ担当

A先生、B先生のご指導の下、1年生は「ロバさん」2年生は「うさぎ」3年生は「かごめかごめ」4年生は「越天楽今様」5年生は「こきりこ節」6年生は「さくらさくら」をお稽古しました。先生方には、演奏方法だけでなく、お箏の知識や演奏する際の心構えも教えていただきました。周りの音を聴きながら演奏すると音が一つになり、皆で気持ちを合わせる感覚を体感することができました。演奏以外でも、隣のお友達の演奏に合わせて歌を歌ったり、手拍子をしたりして、お箏の美しい音色に耳を澄まし余韻を楽しむ心穏やかなひと時となりました。

毎年、「良い楽器で、子どもの頃から本物の良さを覚えてほしい」という願いを込めてお箏をお貸しくださいます生田流箏曲松の実會家元であるN先生に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

児童感想(すずかけノートより)

1回目

4年生になって初めてのおことのお授業でした。弾いた曲は「越天楽今様」です。初めの部分のはかんたんでしたが、最後の方は音が高くなったり低くなったりするので、少しむずかしかったです。今日はメロディーを練習して、次回は伴奏を演奏します。この曲は、春の曲なのかなと思いました。

2回目

今日は伴奏を練習しました。爪を使わないで弾いたので、少し指が痛かったです。左手はできたけれど、右手は、手前側に引く時に親指が中指と人差し指にまけてしまうので、親指を上へ引き上げるようにしたら、いい音が出ました。調べてみたら、「越天楽今様」は①春②夏③秋④冬⑤の4番までであることがわかりました。

4年B組 児童



白菊会バザー 9月24日(日)

総括部長

今年も昨年と同じく、前半が一般の方、後半が在校生と2部に分かれての開催となりました。後半はたくさんの在校生が参加して、会場が活気に包まれました。特に、魚釣りや輪投げ、キャンディーレイの売り場、ハーバリウム作りは例年通りにぎわっていました。今年初めての「おやつバイキング」は、整理券を配布するほど大人気になりました。福引の景品を渡す所にもOGの方や中学生がお手伝いをしてくださり、その振る舞いからも女学館の伝統を感じることができました。お友達やお家の方と楽しそうに会場を回る姿を見てこちらも笑顔になると共に、来年は通常の形で開催されることを願いました。白菊会の方々が多く時間を費やしてご準備くださったことが伝わるすてきなバザーで、会場を去った後に温かい気持ちになれました。

白菊会の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。



広尾移転100周年記念式典

創立記念日の9月11日に、東京国際フォーラムで「広尾移転100周年記念式典」が開催されました。式典に参加した小学生は、館長先生や校長先生、来賓の方々のお話、児童生徒代表の祝辞など、プログラムをそれぞれに傾聴することができていました。

後日、この日のことを日記に記したり話し合ったりした学級がありました。…校歌には女学館生のあるべき姿が歌われているというご来賓のお話、夢を実現されている海外ご在住の卒業生の輝きやお言葉…心に響いた数々のことの中でも特に話題にのぼったのは、「女学館フィルハーモニーオーケストラによる演奏」でした。小学校1年生から卒業生、保護者・教職員等参加された方々の奏でられた音色や真剣な眼差しに、皆、感銘を受けたのです。

東京女学館にご縁のある多方面の方がご参集になり、同じ時、同じ舞台を観て過ごさせていただいたことで、こよない心の対話をもつことができました。子どもたちが、東京女学館の小学生であることに誇りを持ち、これからの学校生活を更に楽しみ輝いていってくださるようにと改めて願いを深めております。

小学校教頭 下田 栄子



10月の生活目標「礼儀作法を正しくする」

礼儀作法は、人と人が気持ちよく生活するために大切なものです。特に明るい気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣い、最後まではっきり話すことは、生活の基本でもあります。そして、素直に「はい」と返事をする習慣も大切にしたいものです。また、近頃、友達の名字を呼び捨てにしたり、乱暴な言葉遣いで話したりしている姿をよく見かけます。相手が不快に思う呼び方や話し方を改め、優しい言葉やきれいな言葉がたくさん聞こえる学校にしたいと思います。ご家庭でも、「礼儀作法見直し月間」としてお取り組みください。

10月の行事予定

- 1日(日) 都民の日・読書月間(月・水・木) ~11月30日まで
- 2日(月) 更衣(紺の帽子)
- 3日(火) 児童朝会・各委員会(10月分)
- 4日(水) お弁当給食(4~6年生)
- 5日(木) 2年生道徳「犬とのふれあい」(シモゾノ学園の方来校)
4年生とびらチェコ大使館訪問・5年生とびらTGG訪問
- 6日(金) 体操朝会・水泳実習終了・クラブ活動
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 児童朝会・通学路別下校訓練 14時15分~
- 11日(水) お弁当給食(1~3年生)
- 12日(木) 避難訓練
- 13日(金) 体操朝会・クラブ活動
- 全校一日授業参観4時間授業(保護者勉強会)

- 16日(月) 3年生図工(世田谷美術館の方来校)
- 17日(火) 音楽朝会
- 19日(木) 交通安全教室(渋谷警察)
- 20日(金) 体操朝会・クラブ活動
- 23日(月) 5年生体験学習(防災館)
- 24日(火) 児童朝会・各委員会(11月分)
- 25日(水) 2年生ブリティッシュスクール訪問
- 27日(金) 体操朝会・クラブ活動
- 31日(火) 1~4年生給食後下校
5・6年生掃除・午後入試準備・係児童説明会